

# 会 告

## ◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
5月15日(金)	第6回日本アイソトープ会議論文申込締切	5号 5ページ参照
5月16日(土)	関東支部第1回学生のための映画会	5号 1 "
5月29日(金)	土木学会第50回通常総会	5号 2 "
30日(土)~31日(日)	土木学会第19回年次学術講演会	5号 2 "
5月31日(火)	災害科学に関する合同総合講演会課題申込締切	5号 7 "
6月1日(月)~2日(火)	見学会	5号 2 "
6月3日(水)~4日(木)	第2回接着研究発表会	5号 7 "
6月4日(木)	第14回応用力学連合講演会申込締切	5号 6 "
6月15日(月)	昭和39年度中部支部研究発表会申込締切	5号 1 "
6月16日(火)	日本工学会第9回見学会	5号 7 "
6月20日(土)	第8回材料試験連合講演会申込締切	5号 4 "
6月27日(土)	第1回土質化学に関する特別講演会(申込締切6月10日)	5号 5 "
6月30日(火)	水工学に関する夏期研修会申込締切	5号 3 "
6月30日(火)	構造用軽量コンクリートに関する申込締切	5号 5 "
6月30日(火)	第2回国際水質汚濁会議申込締切	5号 4 "
そ の 他	国土開発映画コンクール作品募集	4号 2 "
	西部支部事務局移転	5号 1 "
	国家公務員採用試験期日	5号 7 "

## 関 東 支 部 行 事 案 内

### 第1回学生のための映画会

1. 日 時: 1964年5月16日(第3土曜日)
2. 場 所: 土木学会会議室(東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園入口)
3. 上映映画: ①東洋の旅 第1部 ②東洋の旅 第2部 ③現代をつくる  
(従来本部で実施していた関東地区学生諸君のための映画会は今後関東支部の行事となります)

## 中 部 支 部 行 事 案 内

### 昭和39年度土木学会中部支部研究発表会発表申込みについて

発表希望者は研究発表題目,勤務先,連絡先を明記のうえ,1964年6月15日(火)までに下記あて申込み下さい。  
名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋土木局道路建設課課長 三 浦 侃

## 西 部 支 部 事 務 局 移 転

西部支部は4月7日より下記へ事務局を移転いたしましたのでお知らせします。

住 所 福岡市渡辺通り2丁目 九州電力KK土木部内 電話 (76) 3031

## 第 50 回通常総会および第 19 回年次学術講演会

昭和 39 年度土木学会通常総会（第 50 回）および第 19 回年次学術講演会はつぎの日程で行なわれます。詳細のプログラムは例年のとおり会員に別途郵送いたしましたので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 通常総会：1964 年 5 月 29 日（金） 14.00～17.00 七十七銀行（仙台市広瀬通り）
2. 総合講演：1964 年 5 月 30 日（土） 9.00～12.00 東北大学記念講堂

### 題 目 お よ び 講 師

9.10～9.40	河川と 30 年	土木学会会長	山 本 三 郎
9.45～10.15	最近の地震工学について	東京大学教授	岡 本 舜 三
10.20～10.50	東北開発と交通政策	東京大学教授	今 野 源 八 郎
10.55～11.25	伊達正宗の産業土木計画について	郷土史研究者	三 原 良 吉
11.30～12.00	青函トンネルについて	日本鉄道建設公団計画部長	粕 谷 逸 男

3. 年次学術講演会：5 月 30 日（土） 13.00～17.00 } 東北大学川内分校  
31 日（日） 9.00～17.00 }

4. 懇 親 会：5 月 30 日（土） 18.00～19.00 グランドホテル仙台（仙台市東三番丁電力ビル内）

5. 見 学 会：6 月 1 日（月）～2 日（火）

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| A 班（仙台市内コース）：6 月 1 日（月） 定員 100 名         | 仙台市内～松島                       |
| B 班（スカイラインコース）：6 月 1 日（月）～2 日（火） 定員 50 名 | 仙台～スカイライン～裏磐梯～会津若松            |
| C 班（花巻コース）：6 月 1 日（月）～2 日（火） 定員 50 名     | 仙台～中尊寺～花巻(泊)～四十四田ダム～盛岡        |
| D 班（十和田コース）：6 月 1 日（月）～2 日（火） 定員 50 名    | 仙台～青森～奥入瀬～休屋～湯瀬(泊)～盛岡<br>(夜行) |

6. そ の 他：学術講演会の質疑討論の申込締切期日（東北支部宛）は 1964 年 5 月 15 日です

7. 東北支部所在地：東 北 支 部 仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局企画室内（電 仙台 22-4191）

### 天 童 市

天童市では全国生産の約 95% の将棋の駒を生産している。この駒造りは織田家の家臣吉田大八がその藩士の救済策として手内職に奨励したのに始まるといわれる。天童は温泉町であり、特産の将棋の駒にちなんで駒形をした写真にみるような王将風呂をもった温泉旅館もある。天童温泉はかんがい用の井戸を掘っていて偶然発見されたといわれ、たんぼの見える野趣に富んだ温泉町である。また、将棋の町にふさわしく天童では 4 月下旬には、男性の白軍と女性の紅軍に分れて人間将棋の野試合が舞鶴公園で行なわれる。

### 陸 中 海 岸

陸中海岸国立公園は面積 86.14 km<sup>2</sup>、岩手県の太平洋岸、下閉伊郡普代村から南の釜石市まで約 90 km の海岸線を範囲とし、ほぼ中央の宮古市の市街を境にして、北半は隆起海岸、南半は沈降海岸を呈する。そしてこの海岸は写真にみるような豪壮な海食崖が形成されていてウミネコ、ウミツバメ、オオミズナギドリなどの海鳥類が多い。また、南の船越湾の大島には暖帯性植物のタブの木の密林があり、北の北山崎付近には高山植物のシロバナジャクナゲの群生などが見られる。



## 水工学に関する夏期研修会

水理学に関する最近の高度の知識を研鑽し、その水工技術への応用を図るため、水理委員会および関西支部の共催のもとに、下記の要領により第1回水工学に関する夏期研修会を開催致します。関係各位の絶大なご協力をお願い致します。

1. 日 時：(A)コース 1964年7月20日(月)～25日(土)  
(B)コース 1964年7月27日(月)～8月1日(土)
2. 場 所：京都市左京区吉田本町 京都大学工学部土木総合館201教室(市電・市バスいずれも百万遍下車)  
電話 京都(77)8111
3. 研修内容の程度：大学院修士・博士コース程度
4. 題目と講師および日程表：

### (A) コース

日 時	20日(月)	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)
午前 8.30～12.00	64-01 開水路流れの基礎理論 京都大学工学部教授 工博 岩佐義朗			64-03 河床変動 建設省土木研究所河川部長 工博 吉川秀夫		特別講演Ⅱ および修了式
午後 2.00～6.00	64-02 水文統計 京都大学防災研究所教授 農博 角屋 睦		特別講演Ⅰ および懇談会 Ⅰ	64-04 流出解析 京都大学防災研究所教授 工博 石原安雄		見学(A) 京都大学防災 研究所
6.30～8.30			懇 親 会			

### (B) コース

日 時	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)
午前 8.30～12.00	64-05 波 動 論 北海道大学工学部教授 工博 岸 力			64-07 高 潮 大阪大学工学部助教授 工博 室田 明		特別講演Ⅳ および修了式
午後 2.00～6.00	64-06 波浪予知 運輸省港湾技術研究所 設計基準部長 工博 井島武士		特別講演Ⅲ および懇談会 Ⅱ	64-08 海岸堤防 京都大学防災研究所教授 工博 岩垣雄一		見学(B) 大阪大学・大 阪市立大学
6.30～8.30			懇 親 会			

#### 特別講演の講師

- |  |              |
|--|--------------|
| Ⅰ：京都大学工学部教授・防災研究所長<br>東京大学工学部教授<br>KK東京鉄骨橋梁製作所常務 | 工博 石原 藤 次 郎  |
| Ⅱ：京都大学理学部教授・理学部長                                 | 工博 嶋 祐 之     |
| Ⅲ：大阪市立大学工学部教授<br>中央大学理工学部教授                      | 工博 横 田 周 平   |
| Ⅳ：京都大学工学部教授                                      | 理博 速 水 頌 一 郎 |
|  | 工博 永 井 莊 七 郎 |
|  | 工博 林 泰 造     |
|  | 理博 山 田 彦 児   |

5. 定 員：A, B 各コースとも 60 名程度
6. 参 加 費：1 コースにつき 5 000 円 (ただし、テキスト代・懇親会・見学会の費用を含む)
7. 申 込 方 法：受講希望者は勤務先、連絡先、氏名、およびコース名(AまたはB)を明記のうえ、1 コースにつき参加費 5 000 円をそえてお申込み下さい。
8. 申 込 先：土木学会関西支部(大阪市天王寺区堀越町・天王寺ステーションビル4階)  
電話 大阪(716)7881 振替口座大阪 82599 番)
9. 申 込 期 限：1964年6月30日(火) 先着順定員締切
10. そ の 他：テキストのみの頒価は未定です(追って会告)。

## 第 2 回国際水質汚濁研究会議開催案内

1962 年 ロンドンにおける第 1 回国際水質汚濁研究会議について第 2 回が本年 8 月東京都で開催されることになり、その詳細が下記のように決定しましたので水質汚濁の研究分野に関係深い方々の積極的な参加を希望します。

1. 主催団体：日本水産学会・日本海洋学会・日本衛生学会・日本化学会・日本鉱業会・化学工学協会・土木学会
2. 会議開催地：東京都千代田区平河町 2 の 6 日本都市センター
3. 開催期日：1964 年 8 月 24 日（月）～ 8 月 28 日（金）
4. プログラム：1964 年 8 月 24 日 9 時 30 分より開会式  
1964 年 8 月 24 日 14 時～ 17 時～8 月 28 日 9 時～12 時まで 48 編の主論文発表および討議  
1964 年 8 月 28 日 14 時より閉会式  
1964 年 8 月 29 日 9 時より見学会（都内下水処理場、浄水場、工場等）

上記の討議はつぎの 3 部門に分けて行なわれます。

- I 淡水河川の自浄作用と汚濁の漁業におよぼす影響
  - II 下水および産業排水の処理
  - III 汚濁の海洋環境におよぼす影響の各 Section ごとに 16 編の主論文および主論文 1 編に対して 2～3 編の討議論文の発表があり、その後 Floor discussion が行なわれる。討議発表および討議は日、英、仏語で同時通訳される。
5. 費用：会議参加費 7200 円（前副代金） 見学会費 750 円
  6. 会議参加申込み：参加希望者は下記の事務局に申込書を請求されたい。  
東京都千代田区平河町 2 の 6 日本都市センター内（電 261-5501 内線 135）  
国際水質汚濁研究会議運営委員会事務局長 西田武雄
  7. 申込締切期日：1964 年 6 月 30 日（火）

注：会場の都合により会議参加者数に限度がありますので、申込み受付を締切ることがあります。

### 第 2 回国際水質汚濁研究会議主論文和訳

#### Section I

1. 水質汚濁に関する最近の生物学およびビール学的展望
2. 有毒物質にさらされた魚類の行動
3. 魚類に対する毒性の直接測定法の進歩とその利用
4. 河川に狙上したサケに悪影響をおよぼした銅—亜鉛汚染—現地調査と実験的研究
5. PH 値の異なる水中に貯留した有機磷殺虫剤のアンチコリネステラーゼ作用の減衰
6. 陸水循環における多原子価金属酸化物の役割について—鉄およびマンガンによる例証
7. 生物学的に分解不能な ABS の開発
8. 河川沈積物による放射性核種の摂取と放出
9. 台湾における黒足病と砒素による飲料水汚染との関連性
10. 汚濁河川の魚類生産に関する生物示標
11. 下水管きょ内の酸素消費と再曝気
12. 淡水と大気間のガス交換に影響する諸因子
13. 感潮水域における汚濁物質の流下方向伝播
14. 酸化池におけるグラドセラの機能
15. 有機性排水が流入した湖の特性変化
16. プレッド湖の水質汚濁

#### Section II

1. 産業排水処理の最近の進歩
2. し尿の嫌気性消化
3. 活性汚泥法の処理過程における嫌氣的生物作用
4. 繊維加工および染色工場群からの廃水の活性汚泥処理
5. 糖蜜蒸留工場廃水の処理で生じた物質の利用
6. 活性汚泥の脱水酸素素活性の測定
7. 安定池における下水およびし尿からの窒素除去
8. 地下注入のための廃水処理
9. 生物学的合成および生長の熱力学
10. 生物学的合成および生長における動力消費
11. 汚泥処分の諸問題
12. 活性汚泥中における第 4 級炭素化合物の代謝
13. 下水中の寄生虫とそれを絶滅する可能性
14. 自動操作・連続記録式マノメーター内の生物学的酸化
15. 低圧力による曝気法の特徴
16. 活性汚泥法の最近の進歩

#### Section III

1. 海水浴場の水質
2. 海水と貝類中の大腸菌群およびし尿連鎖球菌の示標とサルモネラ菌および腸ビールの出現との関連性
3. プゼットサウンドにおける紙パルプ製造工場の廃水による汚濁の研究
4. 亜熱帯地域における港湾汚濁例

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 5. 感潮域における沿岸汚濁の研究                         | の化学的調査                       |
| 6. 火力発電所冷却用海水使用上の問題点                      | 11. 西北微平洋の放射能汚染              |
| 7. カナダ太平洋岸の内陸海水路における潮位・潮流資料からのフラッシュレートの推定 | 12. 海洋微生物による混合核分裂生成物の蓄積      |
| 8. 感潮水域における汚濁予知                           | 13. 沿岸および河口部の水域における微生物の硫化物生産 |
| 9. 沿岸海域における放射性物質の拡散                       | 14. 腸内細菌の消滅におよぼす海洋プランクトンの影響  |
| 10. 酸素が欠乏し、硫化物の発生した湾およびフィヨルド              | 15. 汚濁物質の水棲生物におよぼす生理学的効果     |
|   | 16. 閘門を通して侵入する海水の空気防壁による防止   |

## 第1回土質化学に関する特別講演会開催

標記の講演会がつぎのとおり行なわれますので多数ご参加下さいませようご案内いたします。

- 期 日：1964年6月27日(土) 9.00~17.00
- 会 場：早稲田大学小野記念講堂
- 講演内容：
 

9.00~9.10 委員長挨拶	土質化学委員会委員長 永井彰一郎
① 9.10~10.00 土質化学における問題点	早稲田大学助教授 森 麟
② 10.00~10.50 建設工事における注入工法	東京大学生産技術研究所助教授 三木五三郎
③ 10.50~11.40 電気化学的注入工法	大阪市立大学助教授 三 瀬 貞
④ 13.00~13.50 土質安定とリグニンの役割	山陽パルプKK 清 岡 繁 夫
⑤ 13.50~14.40 土質安定とアクリル酸塩類	東亜合成化学工業KK 大橋九万雄
⑥ 14.40~15.30 土のレオロジー	東京工業大学教授 素 木 洋 一
⑦ 15.30~17.00 パネル討論	
- 聴 講 料：1000円(テキスト代をふくむ)当日会場にて受付け
- 定 員：200名
- 申込方法：はがきに住所・勤務先・氏名を記入のうえ6月10日までに下記へ申込んで下さい。
- 申 込 先：電気化学協会土質化学委員会(東京都千代田区有楽町1の3 電(201)0897)  
主 催：電気化学協会土質化学委員会 協 賛：土木学会・土質工学会

## 構造用軽量コンクリートに関するシンポジウム開催について

日本 A.C.I. では下記により構造用軽量コンクリートに関するシンポジウムを開きますので多数お申込み下さい。

- 日 時：1964年11月下旬
- 場 所：東京都内(未定)
- 論文提出申込期限：1964年6月30日(火)
- 論文募集要領：論文提出ご希望の方は6月30日までに論文題名、氏名に内容梗概(1000字以内)を付して日本 A. C. I. 事務局に申込んで下さい。その他詳細は日本 A. C. I. 事務局へご連絡下さい。
- 日本 A. C. I. 事務局：東京都中央区日本橋本町3の5・ワカモビル ケンメイヤー技術 KK 電話(270)3067

## 第6回日本アイソトープ会議論文募集

日本原子力産業会議、日本放射性同位元素協会ならびに日本原子力学会の共催により「第6回日本アイソトープ会議」が来る11月16日~19日の4日間、東京において開催され、本会議の開催にあたり下記の要領により論文を募集していますのでご希望の方はご応募下さい。

- 応募論文の課題：
  - 研究発表；アイソトープおよび放射線に関する物理、化学、測定、機器、遮蔽、安全取扱および施設など、アイソトープならびに放射線を利用する場合の基礎となる研究あるいは技術に関するもの。
  - シンポジウム；1)放射線管理にともなう放射線測定 2)放射化分析 3)工業的計法 4)工業におけるトレーサーの調製法 5)放射線化学における線量率効果ならびにLET効果 6)放射線固相重合 7)放射線防護剤に関する研究 8)薬料研究におけるアイソトープの利用 9)農林、畜水産生物研究への新しいアイソトープの利用 10)農学への線源の利用 11)生物反応の研究におけるトレーサーの利用。
- 内 容：上記各課題に合致するもので、研究結果が明瞭なものとする。内容に既発表のものをふくんでも差し支えない。  
①論文提出の希望者は課題別、論文題名、所属、発表者名(共同発表の場合は所属、住所、発表者名を個々に記入のうえ、口頭

発表予定者に○印を付記すること)を明記し、5月15日までに必着するようはがきで下記申込先へ提出する。

- ②アブストラクトの原稿用紙ならびに論文執筆要領を論文提出者に直接送付する。
  - ③論文の提出者は、所定の原稿用紙2000字(図・表を含む)以内の和文アブストラクト(選考用)1通を作成、6月30日までに下記へ提出する。
3. 連絡ならびに申込先: 東京都港区芝田村町1の1・日本原子力産業会議アイソトープ課 電話(591)6121~4

## 第14回応用力学連合講演会講演募集

1. 共 催: 日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会・日本数学会・日本物理学会
  2. 幹事学会: 応用物理学会(東京都文京区本富士町1 東京大学工学部内)  
日本機械学会(東京都港区赤坂一ツ木町 89 日本規格協会ビル内)  
日本数学会(東京都文京区本富士町1 東京大学理学部内)
  3. 日 時: 1964年9月初旬または中旬
  4. 会 場: 京都大学工学部
  5. 申込要領: 講演申込みは1人1題とし、参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みのこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みはB5版の用紙に横書でつぎの事項を記載すること。  
(ア)講演題目、(イ)概要 200字以内、(ウ)講演部門および項目名(プログラム編成の都合上「項目一下記参照一」も必ず記載して下さい)、(エ)講演者ならびに連名者(協力者)の各氏名(連名で講演する場合は登壇者に○印をつけること)・勤務先・通信先・学会員資格・年令、(オ)スライド(35mmに限る)の有無  
注: 講演時間は討論を含め1題目 20分の予定、お申込みの際は付記をご覧下さい。
  6. 講演部門および項目: (第1部)項目: 弾性学, 塑性学, 粘弾性学, 材料強度, 粉体力学, 摩擦など  
(第2部)項目: 流体力学, 空気力学, 電磁流体力学, 水理学, 流体輸送, 気象学, 潤滑など  
(第3部)項目: 熱・熱力学, 伝熱, 物質輸送, 熱機関, 燃焼など  
(第4部)項目: 一般力学, 振動, 波動, 応用数学, 自動制御, 組織工学, 計算機など
  7. 申込期日: 6月4日(木) 所属学会必着
  8. 論文抄録集: 聴講者用のテキストとして論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり、所属学会または講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。  
(ア)論文抄録(原稿)提出期日 7月4日(土)。(イ)必ず所定の原稿用紙を用いる、用紙は所属学会から講演申込者に送付します、所定以外の用紙に書いたものは受け取れません。(ウ)原稿は用紙2枚以内(図表・写真を含めて約2600字)に明瞭に墨書すること。(エ)印刷はオフセットによるので写真も入れられます。(オ)原稿の書き方は用紙とともに送付します。
- 〔付 記〕 日本学術会議力学研究連絡委員会刊行会からのお知らせ: 日本学術会議力学研究連絡委員会刊行会は、本講演会の欧文論文集を刊行する予定であります。本欧文論文集の原稿に関する執筆要領、用紙などについては追って力学研究連絡委員会から連絡します。

## 災害科学に関する合同総合講演会開催

文部省科学研究費特定研究(災害科学)の災害科学総合研究班(研究代表者 京大名誉教授 理学博士 石川万吉氏)が中心となり、(1)災害科学に関する研究成果の発表と、(2)災害科学、防災科学の基本問題に関する討議の機会を提供し、(3)あわせて今後の研究連絡をはかる目的をもって、下記要領により総合講演会を開催いたしますのでふるってご参加下さいませようご案内いたします。

1. 期 日: 1964年9月4日(金) 9.00~17.00      9月5日(土) 9.00~16.20
2. 場 所: 名古屋大学(名古屋市中種区不老町)
3. 内 容: (1) 特別講演(2編)  
(2) 研究発表会・各人講演時間 15分・講演課題のみを5月末日までにご提出下さい。講演要旨は400字詰原稿用紙3枚以内として、7月15日までにご提出下さい。提出は本総合研究班の専門分科会または地区部会の幹事を通じて、準備委員長(名古屋大学理学部地球科学教室 松沢 勲教授)あてご提出下さい。  
(3) 討論会、討論課題は、①災害の基本理念(災害とは何か)、②防災計画の対象基準となる災害規模をどの程度

に採るか、④災害の予知問題、の3課題をセミナー方式にて討論したいので、希望者は話題提供の意味でその要旨 400 字詰原稿用紙3枚以内を7月15日までに前記準備委員長にご提出下さい。

4. 地区部会幹事：

北海道地区	北海道大学工学部教授	田 治 米 鏡 二
東北地区	東北大学理学部教授	加 藤 愛 雄
関東地区	東京大学地震研究所教授	金 井 清
中部地区	名古屋大学理学部教授	松 沢 勲
関西地区	京都大学防災研究所教授	村 山 朔 郎
西部地区	九州大学応用力学研究所教授	栗 原 道 徳

## 第2回接着研究発表会開催

土木学会・土木学会関西支部ははじめ関係 14 学協会主催のもとに標記の研究発表会が開催されますので多数ご参加下さいますようご案内いたします。

1. 日 時：1964 年 6 月 3 日 (水) ～ 4 日 (木) 10.00～17.00
2. 会 場：大阪科学技術センター8階大ホール(大阪府市西区靱1の118・電 443-5321, 肥後橋南へ徒歩約10分, 靱公園北側)
3. 特別講演：両日とも 13.00～14.00  
 9月3日 最近の接着剤の進歩 大阪立大学工学部教授 井 本 稔  
 6月4日 合成樹脂の表面分析と表面物性 お茶の水大学理学部教授 立 花 太 郎
4. 研究発表：講演数 25 編 1編当り講演 15 分 質疑応答 5 分 計 20 分
5. 懇 親 会：1964 年 6 月 4 日 (木) 17.30～20.00  
 ①会場；科学技術センター8階小ホール・②懇親会費；1000 円 ③申込；当日までに手紙または電話で、接着技術協会あて申込んで下さい(会費は当日)
6. 講演要旨集：1部200円, 予約ご希望のかたは代金をそえて接着技術協会あてお申込み下さい。当日会場でお渡します。
7. 連絡先：大阪府市西区江之子島 大阪府立工業奨励館内 接着技術協会 年会係 電話 (441) 4755～9

## 日本工学会第9回見学会

日本工学会主催で下記により見学会を催しますのでふるってご参加下さい。

記

1. 日 時：1964 年 6 月 16 日 (火) 14.00～16.00
2. 見学先：科学技術庁航空宇宙研究所 (三鷹市新川 700)
3. 定 員：100 名 先着順に参加証をお届けします。
4. 集 合：14.00 までに見学先正門に集合のこと (国鉄中央線吉祥寺駅下車, 三鷹または調布行バスにて (約 15 分) 下連雀町 (航研正門前) 下車)。
5. 申込先 はがきに第9回見学会申込みと書き, 住所, 氏名, 所属学会名記入, 5 月 31 日までに直接日本工学会 (東京都千代田区神田佐久間町 1-11) (電話 (251) 4358) あて申込むこと。

## 国家公務員採用試験期日について

昭和 39 年度国家公務員採用試験はつぎの日程で行なわれますのでお知らせします。なお、詳細は東京都千代田区霞ヶ関1の2 人事院事務総局 (電話 581-5311) へお問合せ下さい。

試 験	公 告 日	受 付 期 間	試 験 日		合 格 者 発 表 日
			第 1 次 試 験	第 2 次 試 験	
上級試験	5 月 1 日	6 月 1 日～6月22日	7 月 18 日～22 日 (第 1 次 発 表 8 月 27 日)	9 月 上 旬	9 月 18 日
初級試験	6 月 10 日	7 月 10 日～7月31日	9 月 20 日 (第 1 次 発 表 10 月 中～下旬)	10 月 下 旬～11 月 中 旬	11 月 下 旬～12 月 中 旬
中級試験	9 月 15 日	10 月 10 日～10月30日	11 月 29 日 (第 1 次 発 表 12 月 下 旬)	1 月 中 旬～下 旬	2 月 中 旬